

## 中四国ブロック若手建築志(士)交流会in愛媛

みなさま、青年部長の中山です。

今回は、9月21、22日に開催されました令和6年度 中四国ブロック若手建築志(士)交流会 in 愛媛に参加してきましたので報告をさせていただきます。今年度は、愛媛県四国中央市で交流会が開催されました。山口県からは、私を含め3人と少々さびしい人数となりました。私自身前回参加してから19年ぶりの参加でした。

青年部長 中山 怜

交流会で訪れた四国中央市は、紙加工業において日本屈指の生産量を誇る『日本一の紙のまち』ということで地元の伝統工芸の手漉き和紙作りや水引細工の体験をする内容の交流会でした。水引といっても普段はご祝儀袋しか身近でないもので水引を使った細工の芸の細かさに驚かされました。基本の淡路結びを学び、あとはこれを応用することで多彩な細工ができるとのこと。これが思った以上に手先の器用さと集中力が必要となるため、なかなか苦戦する体験となりました。

水引細工について手漉き和紙づくりを体験しました。手漉き和紙づくりは、和紙でハガキを2枚つくる体験で漉き込みから飾り付け・脱水・乾燥までを体験させてもらい全ての工程が約30分で行えました。和紙作りは、小学生のとき以来だと思いますが大人でも普通に楽しめる体験で記念のハガキも上出来でした。



【 手漉き和紙づくり体験をしている様子 】



【 水引細工体験をしている様子 】



【 こんな感じで和紙のハガキができました 】



【 講師による淡路結びのレクチャー 】



【 若手建築志(士)交流会会場での集合写真 】



その後、場所を新居浜市に移し懇親会に参加。普段話すことのできない他県の方々と意見交換などが行うことができ有意義な時間となりました。

2日目は、西条市にある日本基督教団 西条栄光教会の見学でした。ここでは、礼拝堂を中心に西に幼稚園、南に牧師館をそれぞれ渡り廊下で繋いだ建物群で登録有形文化財です。見学会では保存改修を調査から企画設計までされた地元建築士会会員様から説明を受け、当時の設計者浦部鎮太郎氏の思いや苦労話を伺うことができました。



【 改修工事を終えた牧師館の全景 】



【 西条栄光教会内のからくりテーブル体験 】

岩国支部 伊坂 兼治

私は今回初めて若手建築志（士）交流会に参加いたしました。1日目は水引細工と手漉き和紙づくりの体験をし、愛媛県の文化や産業について学びました。どちらも初めての経験で、特に水引細工は綺麗な形を作ることが難しく四苦八苦いたしました。懇親会等では交流会を主催した愛媛県をはじめ、中四国各県の参加者と談笑しながら、多

くの方と付き合いを得ることができました。

2日目は西条栄光教会の施設見学を行いました。牧師館と幼稚園は近年に改修工事が行われており、その内容についての説明を受けました。

この2日間、非常に楽しく充実した交流が行えたと思います。さて、来年度は山口県で若手建築志（士）交流会が開催されます。今回の経験を活かし、より良い企画で、参加者に楽しい思い出を作って頂きたいと思います。

下関支部 大村 優太

令和6年度中四国ブロック若手建築志（士）交流会が愛媛県で開催されました。一日目の交流会では各県合同で手漉き和紙づくりと水引細工体験に参加しました。四国中央市は紙のまちとして製紙業が盛んであり、伝統を体験出来る内容となっていました。手漉き和紙づくりは交流センター内に体験施設が作られており、丁寧に説明して頂きながらハガキを作製しました。水引細工は交流センター内会場にて講師の方に指導して頂きながら作成しました。初体験で最初は戸惑いましたが、最終的には水引細工と千代紙をあしらったうちわを作製することが出来ました。参加者同士和気あいあいと取り組んでいました。

二日目のエクスカージョンは、日本基督教団西条栄光教会の見学を行いました。改修設計時の工夫や苦労話を聞くことができ、大変興味深かったです。礼拝堂については建物用途から改修しようにも補助金制度の使用が出来ず、未改修のままとのことでした。リアルな改修費等も教えて頂き、現状の制度についても考えさせられる見学会となりました。

～ おわりに ～

来年は、山口県が若手建築志（士）交流会の引き受け幹事県です。今度は、我々が中四国ブロックの方を迎え入れる側となります。現在、若手の実行委員会で参加者が楽しく交流が深めることができ山口県を堪能することのできる企画を思案中です。内容として場所だけが決定しており下関市で開催されます。自他共に良い刺激となりまた活気のある建築士会へと活性化していくと良いと思っています。ぜひ若者層の参加まっています！